



◆「グローバル人材育成プログラム」を実施  
 10日間にわたり実施  
 ◆KIT/KTCラーニングエクスプレスを  
 学校法人金沢工業大学(以下、本学園)では、「KIT/KTCラーニングエクスプレス(9月受入)」プログラム(以下、本プログラム)を、平成27年9月7日(月)から16日(水)までの10日間にわたり実施しました。本プログラムでは、シンガポール理工学院のムハマディア大学マラン校の学生5名を本学園に招き、金沢工業大学(KIT)の学生12名、金沢工業高等専門学校(KTC)の学生6名と共に技術・文化交流活動を行いました。

「KIT/KTCラーニングエクスプレス」とは、本学園学生がアジアの開発途上国を訪問し、地域産業の活性化や環境問題の改善などの観点から課題を発見し、解決策を創出するグローバル人材育成プログラムです。本学園学生は提携校であるシンガポール理工学院生と訪問地域の大学生とチームを組み、国籍や専門分野の違いを超えて協働します。

平成27年3月に、学生達は2週間にわたり印度ネシア・マランで活動し、本プログラムはその3月の活動の事後学習と位置づけられています。今回、マランで協働した学生を短期留学生として金沢へ招待し、再び多国籍・異分野連携チームを結成して、本プログラムがスタートしました。チームは本学園のモノづくり施設を利用して、3月にマランで創出した課題解決案のうち2つのアイデアを具体化するモノづくりに取り組みました。

◆ミルクキャンディの生産工程の改善  
 アイデアの1つ目は、観光客向けの土産や家庭用としても需要がある、ミルクキャンディの生産工程の改善を図るもので、滞在し

た。学校法人金沢工業大学(以下、本学園)では、「KIT/KTCラーニングエクスプレス(9月受入)」プログラム(以下、本プログラム)を、平成27年9月7日(月)から16日(水)までの10日間にわたり実施しました。本プログラムでは、シンガポール理工学院のムハマディア大学マラン校の学生5名を本学園に招き、金沢工業大学(KIT)の学生12名、金沢工業高等専門学校(KTC)の学生6名と共に技術・文化交流活動を行いました。



松下臣仁  
(金沢工業高等専門学校・  
グローバル情報学科准教授)

## 金沢工業高専の活動報告

科学技術  
振興機構『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第28回

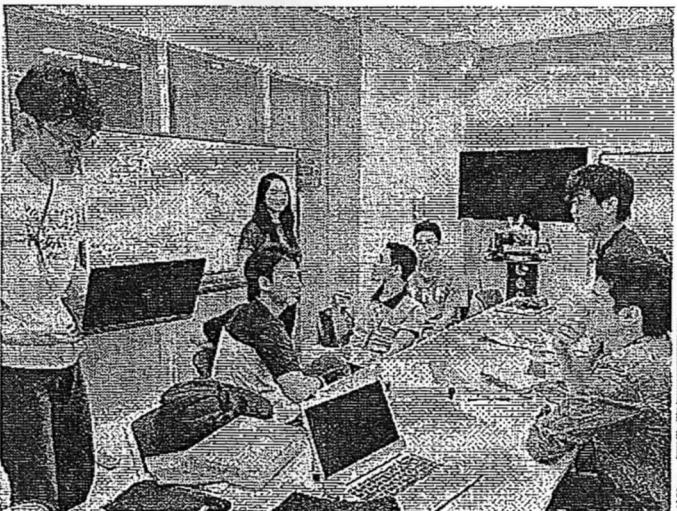
II特別シリーズII



蒔絵体験をする留学生ら



到着時の歓迎会



活発なディスカッション



協力して加工作業をすすめる学生たち

などを観察し、石川県の伝統工芸である蒔絵体験にもチャレンジしました。また、金沢でのプログラム終了後は、東京で1日を過ごし、国立科学博物館や浅草寺等を訪れました。これらの活動を通して、日本の歴史や伝統的な建築物、工芸品、地域の特色ある食事などを実際に見聞し、あらためて日本文化への関心が深まつたようでした。

◆実践的な専門的英語運用能力の向上

本プログラムを通して、留学生達から「日本文化を直に体験し、充実した日々を送ることができた。またいつか日本に戻りたい」という声を聞くことができました。また、チームで考案したアイデアを具体化し、プロ

トタイプをインドネシアに持ち帰るという目的も果たすことができ、大きな達成感を得て帰国の途につきました。本学園学生にとつては留学生との活動を通して、日常生活だけではなく、より実践的な専門的英語運用能力、コミュニケーション能力に磨きをかける機会となりました。そして何よりも、学生達は活動を通して新たな友情を育むことができたことに、最も大きな喜びを感じており、大変実りの多いプログラムとなりました。

これからも本学園は海外教育機関との連携を推進し、国籍を超えた文化交流と実践的な技術交流を通して、多文化共生の礎となる能力を涵養する機会の提供と環境構築を進めてまいります。この度は本プログラムの実施にあたり、JSTをはじめ、ご協力いただいた関係者の方々に厚く御礼を申し上げます。